学校教育目標　「ひと」とともに生きる生徒の育成

植竹の息吹き

令和八年
霜月
第７号

「自律」「敬愛」「進取」の気概溢れる我らが学び舎
チーム植竹の創造

さいたま市立植竹中学校
さいたま市北区土呂町３５２
〒 331-0804
TEL　048-663-2115
FAX　048-665-6377

合唱は　いい

校長　　玉崎　芳行

合唱コンクールが幕を閉じた。文化センターの大ホールに、至高の歌声が響いた。実に美しかった。そして、心震わす日となった。チーム植竹の真髄に感服した。

校長室の窓から眺める景色は　いつの間にか　紅の彩りが清々しい空気を纏い始めている。
我らが学び舎に　歌声が響くこの季節…

“合唱は　いい”



合唱は人の声だから　人が心を合わせるから
　心に感動をよび　感動が希望をはぐくむ

みんなで声を合わせる　みんなで姿勢を合わせる
　でも、一人ひとりへ視線が向き　一人ひとりが際立つ

発表までには様々なドラマがある　その過程で絆が強くなる

誰かの思いのために　誰かの未来のために
　自分を信じて　　人を信じて　　諦めないで　　挫けないで

美しいハーモニーで　　心に残る合唱コンクールにしよう

“合唱は　いい”　　心からそう感じる

一年生の伸びやかで瑞々しい歌声に驚いた。“これから”が、楽しみで仕方ない。二年生の厚みと透明感が増した演奏に唸った。オトナの響きに近づいている。そして、圧巻だったのは三年生。学年合唱「友 ～旅立ちの時～」…歌い終わった直後の“余韻”は、天から粉雪が舞い降りるかの如く、静かに聴く者の心に重なった。

さらに、チームグリーン。どの学級も、指揮、伴奏、歌唱が一つになり、曲想を情感豊かに表現する。まるで、一編の詩、一枚の絵に触れているようでさえあった。さすが、三年生。“最後の”ステージに、心震え、涙が込み上げてきた。私は、あの瞬間を忘れない。

歌の好きな人がいて、そうでない人がいる。歌の得意な人がいて、そうでない人がいる。

いろんな人が居ての学級であり、学年であり、学校である。そんな、いろんな人が集い、「合唱」という、一つの芸術作品を、ゼロから紡ぎあげたみんなの努力と創意と協同に、そして、みんなの “チーム植竹プライド”に、心の底から敬意を捧ぐ。やはり…“合唱は　いい。”